

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

米国と欧州を合わせると世界の経済規模の 4 割を占める。米国および EU やイギリスなどヨーロッパ経済の現状と今後について講義する。

前半は、世界最大の経済規模を有する米国経済が世界経済において果たす役割、米国貿易摩擦、さらに後半は、EU 経済圏の成立から今後の動向等を検討することにより、欧米経済の現状と課題及び世界経済の今後について講義する。

投資家向けに経済・企業業績予測などの情報を提供しているみずほ証券リサーチ&コンサルティング、上場企業社外取締役としての実務経験に基づいて、欧米経済事情の分析手法について詳しく講義する。

授業計画

第 1 回	米国の政治経済システム
第 2 回	経済学と競争政策
第 3 回	企業システムと産業構造
第 4 回	所得格差と貧困問題
第 5 回	貿易・国際金融体制の変化
第 6 回	米国サブプライムローン危機
第 7 回	米中貿易摩擦について
第 8 回	EU の制度・機構
第 9 回	EU の市場統合の現状と課題
第 10 回	EU の通貨統合の現状と課題
第 11 回	欧州債務危機について
第 12 回	イギリスの EU 離脱
第 13 回	EU と米国 IT 企業（グーグル、アップル、アマゾン、フェイスブック）
第 14 回	欧米の自動車産業の競争
第 15 回	欧米の航空機メーカーの競争
第 16 回	期末試験

到達目標

- ・米国経済の現状および世界経済における米国の役割について理解し、することができること。
- ・EU 各国経済の現状および EU 経済の現状について理解し、課題について考えることができること。
- ・授業を踏まえて、米国経済・欧州経済について論述することができること。

履修上の注意

遅刻や欠席をしないようにしてください。国際金融論、国際経済論も履修することが望ましい。

予習・復習

テキストや自作ノートを用いながら講義の予習・復習をしてください。欧米の経済事情について講義するため、新聞などをよく読んでください。

評価方法

期末試験（70%）、リアクションペーパー（30%）。

テキスト

教科書は使用せず、適宜、レジメなどを配布する。